

(傍線部分は改正に係る語句 (改め文は全部改正))

改正後		改正前	
別紙第1	扶養親族届	別紙第1	扶養親族届
(平成 年 月 日提出)		(平成 年 月 日提出)	
各庁の長	勤務官署名 職 名 氏 名 印	各庁の長	勤務官署名 職 名 氏 名 印
給与法第11条の2第1項の規定に基づき次のとおり届け出ます。(証明書類 通添付)		給与法第11条の2第1項の規定に基づき次のとおり届け出ます。(証明書類 通添付)	
届出の理由(該当する□にイ印を付すこと)		届出の理由(該当する□にイ印を付すこと)	
<input type="checkbox"/> 1 新たに職員となつた <input type="checkbox"/> 2 新たに扶養親族たる要件を具備するに至つた者がある <input type="checkbox"/> 3 扶養親族たる要件を欠くに至つた者がある (子、孫及び弟妹で満22歳の年度末を起えた者を除く)		<input type="checkbox"/> 1 新たに職員となつた (□配偶者がない) <input type="checkbox"/> 2 新たに扶養親族たる要件を具備するに至つた者がある (□配偶者がない) <input type="checkbox"/> 3 扶養親族たる要件を欠くに至つた者がある (子、孫及び弟妹で満22歳を起えた者を除く) <input type="checkbox"/> 4 配偶者のない職員となつた (3に該当する場合は除く) <input type="checkbox"/> 5 配偶者を有するに至つた (2に該当する場合は除く)	
扶養親族の氏名	続柄 生年月日 同居・別居の別 (同居の場合は住所) 届出事実の 届出年月日 届出の事由	扶養親族の氏名	続柄 生年月日 同居・別居の別 (同居の場合は住所) 届出事実の 届出年月日 届出の事由
	所得の種類 金額		所得の種類 金額
記入上の注意 1 「届出」欄には、職員との続柄を(重慶心等障害者として届け出る場合は、その旨を併せて)記入する。 2 「同居・別居の別」欄では、別居の場合の住所は市区町村名まで記入する。 3 「所得の種類」欄には、給与所得、事業所得、不動産所得、年金所得等恒常的な所得がある場合に、これら「届出の事由」欄に「所得の種類」を記入する。 4 「届出の事由」欄には、届出の事由(2又は3)に該当する場合は、例えば離婚、離婚、出生、死亡、満60歳以上等)をそれぞれ記入する。		1. 「届出」欄には、職員との続柄を(重慶心等障害者として届け出る場合は、その旨を併せて)記入する。 2. 「同居・別居の別」欄では、別居の場合の住所は市区町村名まで記入する。 3. 「所得の種類」欄には、給与所得、事業所得、不動産所得、年金所得等恒常的な所得がある場合に、これらの欄にその旨(見込額)を記入する。 4. 「届出の事由」欄には、届出の理由(2又は3)に該当する場合は、例えば離婚、離婚、出生、死亡、満60歳以上等)をそれぞれ記入する。	
参考 (上記扶養親族を職員と共同して扶養している者がいることその他認定上参考になると思われる事項があれば記入する。)		参考 (上記扶養親族を職員と共同して扶養している者がいることその他認定上参考になると思われる事項があれば記入する。)	

